

**平成24年度日本NGO連携無償資金協力  
リハビリテーションセンターと障害児支援施設に対する  
障害児用中古車椅子供与計画 供与式開催**

9月26日（木）、日本NGO連携無償資金協力案件「リハビリテーションセンターと障害児支援施設に対する障害児用中古車椅子供与計画」（供与額限度額：2,078,776円）により供与された160台の障害児用中古車椅子の供与式が、社会問題・退役軍人・青少年更正省で開催されました。本プロジェクトは、日本で廃棄処分される障害児用車椅子をカンボジアの障害児に供与することで、彼らが健やかに成長することの出来る社会の実現を目的として、平成22年日本NGO連携無償資金協力事業から継続して支援を行っており、平成24年支援事業においては2013年2月に贈与契約が結ばれ、この度の供与式の運びとなりました。

右式典には、日本国大使館からは玉光書記官が出席して祝辞を述べ、セム・ソカー社会問題・退役軍人・青少年更正省長官、被供与団体である（特活）「海外に子ども用車椅子を送る会」の片野理事、その他政府関係者や車椅子を受け取る子ども達と家族、各地のリハビリテーションセンタースタッフが参列しました。

玉光書記官は、「カンボジアでは、地雷の影響や病気等により車椅子が必要とされる障害児に対して、未だ供給数が不足しています。これまでの草の根支援事業で供与した160台に加え、今般新たに160台の車椅子を供与することで、より多くの車椅子が障害児に行き渡り、障害児、及びその家族がより快適に社会生活を送ることが出来るようになることを願います。」と述べました。セム・ソカー社会問題・退役軍人・青少年更正省長官は、「障害のある子ども達に車椅子を供与して頂く本事業を、日本政府及び日本国民の皆様継続的にご支援頂いている事に、大変感謝しています。これらの車椅子により、子ども達が健やかに成長し、彼らの社会参加が促進されることを望みます。」と述べるとともに、日本政府及び被供与団体に対し、感謝の勲章の授与を行いました。



車椅子供与式典の様子



玉光一等書記官のスピーチ



セム・ソカー社会問題・退役軍人・青少年更正省長官のスピーチ